

大林道路の17代社長に、プロパー出身初のトップとなる安孫子敬美氏が就任した。「心掛けているのは、社員一人ひとりが何事にも自分事として取り組んで顧客から喜ばれるように自ら行動し、大林道路のファンを増やすこと」と力強く語る。社員には「失敗を恐れず、一緒にチャレンジしよう」と呼び掛けており、2033年に迎える創立100周年も見据え、同社があるべき姿へとけん引する安孫子社長に、今後の取り組みなどを聞いた。



— 就任の抱負を

「当社はものづくりの会社であり、安全と品質、環境への配慮が事業の根幹になる。大切になっている価値観は、誠実、挑戦、貢献だ。顧客、従業員と信頼関係を築く一方で、失敗を恐れずに挑戦すること。利益追求だけでなく社会に価値を提供し、社会と共に歩みながら持続的成長につなげることを意識している」

新 社長 Interview

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

— 注力分野は

挑戦し続けファン増やす

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

— 人材戦略は

「経営基盤の強化・安定に向け、人材の確保と育成を推進する。担い手確保は業界の課題だが、働き方改革や業務

「大林グループで連携しながら、中央官庁の舗装工事、民間元請け工事を強化している。NEXCOの大規模修繕工事では、大林組と共同で開発した超速硬型UHPFRC（超高性能繊維補強セメント系複合材料）『スティフクリート』の床版増圧工法を事業の柱としていきたい」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

— 中長期的な展望は

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

「事業面では、舗装・製造販売事業を軸として、建築工事、造成工事、再生エネルギー関連事業にも積極的に取り組む」

記者の目

「社長に就任することは責任重大だが、良い会社にしたい」との思いを感慨深げに語る。「良い仕事、製品を提供することで、ファンを増やしてきた」という安孫子社長に同社の好きなどころを尋ねると、「社員が真面目で誠実。顧客や社会のニーズを理解して行動し、喜んでほしいと考えている。これが会社の結果につながっている」と目を細める。

ける。当社がどうあるべきか、どうしていきたいかといった未来のこと、直近の課題を共に考え、悩みも共有する。新たな事業につながるようなアイデアが生まれることを期待している」

* *

1986年3月日大工学部土木工学科卒業後、同年4月大林道路入社。2018年4月執行役員、2020年4月本店営業部長、21年4月常務執行役員、22年4月プロジェクト推進部長、同年6月取締役、24年4月代表取締役兼専務執行役員を経て、25年4月から現職。北海道出身。64年1月21日生まれ、61歳。趣味は神社仏閣巡りと料理。

